

地域振興、発展へ協定

三戸町と八戸学院大、同大短期大が協定を結んだ



協定を結んだ（左から）八戸学院大の水野学長、松尾町長、八戸学院大短期大学部の杉山学長

三戸

三戸町は20日、八戸市の八戸学院大学（水野眞佐夫学長）と同大短期大学部（杉山幸子学長）と包括連携協定を締結した。互いに持つ情報やノウハウを生かしながら、地域の振興と発展を目指す。

山岡学長がこの日、町役場で協定書に調印した。連携の柱として①スポーツ指導者のレベルアップに向けた特別講座の実施②幼児保育や介護分野における実習協力③人手不足に悩む農家での実地調査などを想定している。

調印後、水野学長は「三戸町の課題をしっかりと学ば

せてもらいたい」、杉山学長は「末永くお付き合いさせていたたく」とそれぞれ抱負。町では人口が1万人を割り込み、高齢化率も4

割を超えるなど少子高齢化が進む。松尾町長は「かつて県南の要所として栄えた三戸町の復活に向けて、大学と効

果的な連携をしていきたい」と語った。三戸町が大学との連携協定を結んだのは青森大、中央大理工学研究所に続き3

件目。八戸学院大と同大短期大学部が自治体と個別に連携協定を結ぶのは7件目となる。（松田啓志）